

「平成 29 年 11 月 1 日に思う」

「どのように備えれば良いのか」と思い悩んだ数日間でした。

先日 22 日、多くの方が“想定外”とされた衆議院議員総選挙が執行され、またその最中に季節はずれの超大型台風が襲来しました。まさに“招かれざる客”です。

もちろん台風がときやところを選んでくれるとは思っていませんが、「意地の悪いことに！」「こんな時に！」という思いを抱かずにはられません。

「どのぐらいの雨量になるのか」、その一方で「無事に投票箱がもどるのか」「開票事務に支障はないのか」等々の不安がつる時間が長かつづきました。

このような事態は記憶にありませんし、おそらく台風と国政選挙が同時にあったことは過去にも例がないと思われます。しかしながらそれは過去の話にすぎません。

今後今回のような“重なった非常事態”をどう乗り切っていくか、新たな課題を突きつけられたように思います。

日本中で多くの死傷者や洪水・浸水被害をもたらして今回の台風でしたが、幸いなことに川上村では人的被害はありませんでした。しかしながら「次も大丈夫」という保証はどこにもなく、これを機に、引きつづき自然には真摯に向き合い、“備えるとは何か”ということについて議論を深め、さらに研さんを積んでいきます。

また、被災した地域の方々に対しては、心からお見舞い申し上げると共に、一日も早い復興を切に願います。